

群馬県立県民健康科学大学 看護学部看護学科
2026 年度 学校推薦型選抜・社会人特別選抜【和文】

【出題意図】

小論文試験により、基礎学力、論理的な思考力・判断力・表現力・自らが見出した課題や問題に取り組む力を評価する。看護職にとって相手を理解することは重要であり、そのための手段としてコミュニケーションは必要不可欠である。そして、このコミュニケーションを通じて相手といかにわかり合えるか思考することは重要な課題である。言葉を尽くした説明や、相手と同じものの見聞きを経ても完全にわかり合うことは難しいという課題に対し、その対応策を自身の経験に基づいて論理的に説明できる思考力・判断力・表現力を問う問題とした。問一では、本文の言葉が指す著者の考えを読み取る思考力や判断力を問う。問二では、自身の経験に基づき課題や問題に取り組むための思考力・判断力や自分の考えを整理し論理的に説明・記述する思考力や表現力を問う。

【模範解答】

問一 傍線部の「前提」とはどのようなことを示しているか、一〇〇字以内で述べなさい。

①言語は意図の全てをそのまま表現できるわけではない。言葉で自分の思いを伝えても常に受け取り手により解釈され、思う通りに相手に正しく理解されとは限らず、人は言われたことの全てを理解するわけではない。(98 字)

②言葉は発した人の意図を言葉を受け取っている人に完全には伝えられず、仮にすべての情報を伝えたとしても聞いた人の解釈によって意味が変わるため、話せば必ずわかるとは限らない。(84 字)

問二 あなたはコミュニケーションにおいて言葉を発する人と受け取る人がわかり合うためにはどうすることが必要だと考えますか。本文をふまえ、あなたの経験を紹介しながら、あなたの考えを四〇〇字以内で述べなさい。

①卓球部の部長だった私は、毎日の練習の集合時間を決め部員に連絡する役割を担っていました。ある日私は「放課後すぐに体育館に集合」と伝えましたが、部員達は授業後の教室の掃除を終えてから行けばよいと思っており、予定した時間に練習を始めることができませんでした。私は自分が伝えた「すぐに」の意味が当たり前で伝わっていると思っていましたが、相手の理解は同じではありませんでした。この経験からコミュニケーションでは、言ったことが相手にどう伝わったかに目を向けることが大切だと気付きました。また、自分が伝えた言葉は当然伝わるだろうと過信せず、相手がどう理解したか確かめながらやり取りする姿勢も大切だと思います。そのため、コミュニケーションにおいて双方がわかり合うためには、言語による伝達が伝えたいようにそのまま伝わるわけではないことを意識して丁寧に説明することや相手の理解を確認することを怠らないことが重要だと考えました。(400 字)

②私は合唱コンクールで指揮者をつとめた時、クラスメイトに「強弱をもっと意識して」と伝えましたがうまく伝わらない経験をしました。いつも合唱部の部員に同じことを言えばすぐに改善されるのにクラスメイトには毎日伝えてもなかなか改善されず、何度も同じ指示を繰り返すことになりました。今思えば、クラスメイトは合唱部の私とは違って合唱に慣れている人ばかりではなかったのも、人によって「もっと意識して」のとらえ方が異なっていて、どの程度強弱をつけたらいいのか、どう意識したらいいのか、クラスメイトにとっては私の説明が十分ではなかったのだと反省しました。この経験から、伝える相手がどのような人かによって伝える言葉や説明といった伝え方にも考慮が必要で、相手によってより具体的に詳しく説明することも必要だと考えます。また、伝えた後にも相手にどのように伝わったのか確認することも相手とわかり合うためには重要だと考えます。(398字)

群馬県立県民健康科学大学 看護学部看護学科
2026 年度 学校推薦型選抜・社会人特別選抜【英文】

【出題意図】

The Japan Times (2025 年 6 月 10 日 Web 版) に掲載された記事を採用した。日本の若い女性における深刻な「痩せすぎ (低体重)」問題について、日本肥満学会が FUS (Female Underweight/Undernutrition Syndrome) という新たな症候群として提唱し、診断基準の策定など本格的な対策を始めたという記事である。将来医療従事者を目指す高校生にとって、食生活と健康問題について考える内容となっている。本記事に関した問いを通して、「基礎学力、論理的な思考力・判断力・表現力、自ら見出した課題や問題に取り組む力」を評価する。問 1 および問 2 において、英語を読み理解する基礎学力を確認するとともに内容を誤解なく正確に判断し表現できる能力を、問 3 においては、それに加えて、論理的な思考力、自ら見出した課題や問題に取り組む力を評価する。

【解答例】

問 1 24.4%

問 2

方法：16 歳から 23 歳の日本人女性 1,000 人を対象に実施したオンライン調査 (35 字)

結果：低体重の女性の約 20%、普通体重の女性の半数以上が、自分自身を「太っている」と見なしていることが明らかになった。(56 字)

問 3

(例 1)

若い女性が痩せたいと思う要因は、社会に広まっている「痩せていることは美しい」という価値観や SNS で発信される修正された画像や AI 画像、インフルエンサーなどの影響が考えられます。これらにより、「自分はまだ太っている」という過った自己認識が生まれ、食事制限などの行動を促し、長期的にみると身体のみならず精神的にも深刻な悪影響を与えます。これは、個々人の問題というよりも社会の問題だと考えます。社会全体で SNS などの使用に関するリテラシー教育を進め、健康に関する正しい知識を広めていくことが重要だと考えます。(251 字)

(例 2)

若い女性が痩せたいと思う大きな要因は、美容整形クリニックの広告や SNS、TV、雑誌を含むメディアが発信する度が過ぎた外見に関する基準にあると思います。また「自分もあのアイドルのような体型になりたい」という考えは若い女性にとっては普通のことだと思います。しかし実際には、痩せているのに「自分はまだ太っている」という過った自己認識を生む結果になっています。心身の健康を犠牲にしてまで過度なダイエットを行うという行動は極めて憂慮する事態です。今後、私たち一人ひとりが、SNS などのメディアに踊らされることなく、健康に関する正しい知識を持つことが大事だと思います。(278 字)